

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 2 1 1

2 0 0 9 年

11 ~ 12 月号

行 事 案 内

11 月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 11月15日(日) 雨天中止
(定例の第2週はJBFと重なりま
すので11月は第3週です)
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 手賀沼に冬鳥達が出揃う時期にな
りました。
沼面にはカモ類、葦原の小鳥達、そ
して上空のワシタカ類……。何種
類の鳥に会えるか、期待が高まりま
す。
解 散 正午
担 当 小林(寿)、野口(紀)、桑森、北原、
佐々木、松田

12 月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 12月13日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 今年最後の定例探鳥会です。
上空のワシ・タカ類、湖面の水鳥そ
して周辺の小鳥達、この季節冬鳥が
勢ぞろいしています。じっくり観察
しましょう。
解 散 正午
担 当 北原、桑森、松田、佐々木、小林(寿)、
野口(紀)

東庄県民の森・江戸崎探鳥会

期 日 11月29日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口 午前8時
案 内 当会では初めて企画する「東庄県民
の森」と「江戸崎」を組み合わせた
探鳥会です。「東庄県民の森」では
森内の冬鳥が、野鳥の広場の池や夏
目の堰ではカモ類の群れをはじめ
水鳥が期待でき、これまでの探鳥会
ではトモエガモが観察されていま
す。「江戸崎」は関東では唯一のオ
オヒシクイの群れの飛来地で、霞ヶ
浦南端の干拓地にあり、毎年50~
80羽観察されています。運が良け
ればヒシクイに混じってマガンが
観察できるかも知れません。
交 通 自家用車分乗です。便乗者は一人
1,500円を運転者にお渡しください。
申し込みの際、自家用車を提供
可能な方はその旨ご連絡ください。
持 物 観察用具、雨具、防寒具、昼食(途
中購入可)
申 込 桑森亮まで
担 当 諏訪、桑森

酒 沼 探 鳥 会

期 日 12月27日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口 午前8時
案 内 年末恒例の探鳥会です。昨年はハジロカイツブリの大群とか珍しいコオリガモが見られました。今年も沢山の種類の水鳥が観察できると思います。又、酒沼名産のしじみをお土産に如何ですか。

交 通 自家用車分乗です。便乗者は一人2,000円を運転者にお渡し下さい。申込の際、自家用車提供可能な方はその旨をご連絡下さい。

持 物 観察用具、雨具、防寒具、昼食(途中購入可)

申 込 北原建郎まで
担 当 北原、田丸

波 崎 探 鳥 会

期 日 1月3日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口 午前8時
案 内 毎年恒例の新年探鳥会で、小見川の葭原、神栖市の神之池、波崎漁港を訪れます。小見川ではチュウヒヤノスリなどタカの飛翔、神之池・波崎漁港周辺ではカモ・カモメ類など、変化に富んだ探鳥会です。昨年は神之池ではミコアイサの群れが、波崎ではミユビシギ、ミヤコドリ、シノリガモなど45種が観察されています。新年早々ですが、多くの鳥たちと出会い、2010年の探鳥をスタートしましょう。

交 通 自家用車分乗です。便乗者は一人1,500円を運転者にお渡し下さい。

い。申し込みの際、自家用車を提供可能な方はその旨ご連絡ください。

持 物 観察用具、雨具、防寒具、昼食(途中購入可)
申 込 桑森亮まで
担 当 松田、田丸、桑森

芋 煮 会

芋煮会で今年の行事の締めくくりとします。五本松公園キャンプ場へお集まりください。全員で担当しますので多数の参加をお願い致します。ご家族の方の参加も大歓迎です。

期 日 12月20日(日) 雨天中止
会 場 五本松公園キャンプ場
集 合 会場 午前10時
参加費 大人1000円、中学生以下800円
持 参 汁椀、箸、おにぎりなど
酒類持込可、未利用ぶんは持ち帰り

担 当 全幹事
申 込 会計担当北原まで、ハガキ、電話、Eメールで申し込んでください。12月13日の探鳥会でも受け付けます。

申込期限 12月14日

11月幹事会開催案内

日 時 11月15日(日) 13:30~16:30
場 所 水の館研修室(3F)
議 題

- ・芋煮会実施体制、作業分担など
- ・報告事項(JBFなど)
- その他議題あれば事務局へ

第9回ジャパンバードフェスティバル

ジャパンバードフェスティバルが11月7日(土)8日(日)開催されます。当会も参加いたしますので皆様のご協力をお願いします。

会場 千葉県立親水広場(水の館)、我孫子市鳥の博物館、アビスタ、その他

案内 当会の展示ブースは鳥の博物館駐車場です。また、学生、NPO 団体等は親水広場です。当会の参加内容については以下になります。他団体のイベントについては、広報あびこの10月16日号もしくは11月1日号をご覧ください。

担当 幹事全員と会員各位

我孫子野鳥を守る会参加内容

- ・ブース出展：パネル展示(野鳥の採餌写真など)、紙芝居、庭に鳥を呼ぶ草木の展示
- ・噴水前定点バードウォッチング
- ・船上バードウォッチング

会場の準備

会場の準備を11月6日(金)の午後から行います。参加できる方は、午後1時30分に当会の展示ブースにお集まりください。

ジャパンバードフェスティバルのパンフレットに当会会員の写真が採用されました

日本女子オープンゴルフが我孫子ゴルフ倶楽部で10月1日から4日間、開催されましたが、この機会を利用してジャパンバードフェスティバル(JBF)のPRを行うことになり、日本女子オープンゴルフの入場者にJBFのパンフレット2.5万部が配布されました。このパンフレットに「我孫子ゴルフ倶楽部で見られる鳥たち」の写真11種掲載され、当会の会員が協力しました。当会の名前は全国的に発信されました。諏訪哲夫さん、中西榮子さん、中野久夫さん、西巻実さん、野口隆也さんの素晴らしい写真が掲載されました。掲載された写真はキジ、カルガモ、ハクセキレイ、キジバト、ツグミ、ムクドリ、モズ、ウグイス、コゲラ、シジュウカラ、フクロウの11種でした。

黒田長久先生に捧げる音楽会 (JBF関連行事)

日時：11月8日(日) 午前11時～12時

場所：アビスタミニホール

講演：山階鳥類研究所 山岸所長による黒田長久先生についてのお話

歌：西嶋みどり(当会会員) ファーブルのところで歌う鳥図鑑60曲より10曲

第19回手賀沼ふれあい清掃

期 日 12月6日(日) 午前9時から11時30分まで

(荒天の場合12月13日(日))

集合場所 手賀沼公園多目的広場 8時45分集合

清掃開始 9時から「ふれあいコース」(手賀沼公園沿岸～親水広場)

清掃終了 11時～11時15分 じゃんけん大会

終了挨拶 11時15分～11時30分 閉会挨拶、参加記念品の配布

解 散 11時30分

当日の作業 本部で参加記念品の配布 若干名

持 参 軍手、火バサミ等

*実施、中止のお知らせ 8:00よりテレホンガイドで(0180-99-3173)

* 詳しくは11月16日付か12月1日付の「広報あびこ」をご覧ください。

行事報告

8月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2009.8.9 9:00～11:30

曇り・無風 気温 31

<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、ゴイサギ、アマサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、サシバ、キジ、バン、オオバン、キジバト、カワセミ、ツバメ、イワツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ウグイス、オオヨシキリ、セッカ、シジュウカラ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス
計 30 種 番外カワラバト

<探鳥班> 田中悟、肥後邦彦、村瀬和則、諏訪哲夫、大久保陸夫、榎本右、西嶋昭生、浅井久、北原建郎、吉田隆行、間野吉幸、松田幸保、中野久夫、松本勝英、松本葉子、川村美智子、川村美恵子、小玉文夫、六角昭男、石渡成紀、類地佑子、野口紀子、松下勝子、田丸喜昭（担当）桑森亮 参加者 25 名

<カウント班> 木村稔、染谷迪夫、田中功

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	6	8	14
カワウ	18	27	45
ゴイサギ	1	0	1
ダイサギ	4	3	7
チュウサギ	0	10	10
コサギ	4	0	4
アオサギ	4	0	4
コブハクチョウ	3	5	8
カルガモ	12	2	14
オオバン	1	1	2
合計	53	56	109

<ピオトープ班> 猪爪敏夫、川田光男、谷山晴男、鈴木静治

全般：葛・葦・蒲等が繁茂、生息場では池が見えない程。季節のせいもあり、野鳥の種・数少ない。

水田：稲穂が垂れ始めている。一部の水田は黄金色になっている。

ピオトープ：「湿地の植物群再生の試み」、体験水田の稲が成育、道路脇の草刈済み。

通行人：暑いせいかランニング、散歩、自転車の人が比較的少ない

9月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2009.9.13 9:00～12:00

晴れ 気温 26

<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、ゴイサギ、アマサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、バン、オオバン、アジサシ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ウグイス、セッカ、エナガ、シジュウカラ、メジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス
計 30 種

<探鳥班> 田中悟、栗田励、田中恒雄、中野久夫、諏訪哲夫、浅野利幸、野口隆也、宮下三禮、吉田隆行、染谷良子、肥後邦彦、常盤孝義、武藤康之、田丸喜昭、北原建郎、柴本法子、小林寿美子、野口紀子、畠中暁美、大久保陸夫、間野吉幸、榎本右、小玉文夫、古出洋子、佐藤弘美、松下勝子、和田朋之、岩田孝之、松本勝英、松本葉子、川村美智子、川村美恵子、桑森亮（担当）松田幸保
参加者 34 名

<カウント班> 木村稔、佐々木隆、田中功、染谷迪夫

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	8	4	12
カワウ	26	61	87
ゴイサギ	5	0	5
アマサギ	0	5	5
ダイサギ	4	4	8
チュウサギ	10	44	54

コサキ	5	2	7
アサキ	5	2	7
コブハクチョウ	10	9	19
カガモ	10	1	11
バン	2	0	2
ワカメ	2	0	2
アジサシ	8	14	22
合計	95	146	241

特記事項:北千葉道水路導水 6 立方 / 秒流入

< ビオトープ班 > 猪爪敏夫、谷山晴男、鈴木静治

全般: 葦・葛が繁茂し生息場の池は殆ど見えなかった。鳥数・数はやや少いがミサゴ・ハヤブサ・コアジサシ・アジサシ等が観察された。

水田: 多くの水田は稲刈りを終えていたが、刈入れ中の田で採餌するサギが見られた。

ビオトープ: 観察ゾーンの池周り草刈り。湿地植物群落再生実験中。体験水田の稲束干し。

通行人: 散歩・ウォーキング・ランニング・自転車の人多数。

東京港野鳥公園探鳥会

8月30日

鳥も、人も、いつまでも

栗田 励

- ・我孫子駅改札口に 8:10 に集合し、JR 常磐線にて、上野着、乗り換え---JR 京浜東北線で大森駅まで行き、大森駅より京急バスに乗り換え、野鳥公園下車---徒歩 5 分。
 - ・前日までは、雨模様の天気、心配しておりましたが、当日(8/30)は、曇天で雨は降っていませんでした。
- 総勢 21 名(柏駅等途中参加者数名含む)で JR 常磐線に乗り、上野駅を経由して大森駅で下車、京急バスで、野鳥公園正門に到着---入園手続き---入園料を支払い(65 歳未満---300 円、65 歳以上---150 円)但し、団体割引があり、実際は団体割引料が適用されたので、20%安い料金で入園できた。
 - ・東京港野鳥公園は、東京湾の埋め立て地を

活用して作られた場所であり、公園の位置は、前方に臨海都心を望み、後方には羽田空港を控えており、頻りに発着する飛行機が見え、探鳥中の双眼鏡に時々、野鳥の他に巨大な飛行機の姿が入ってきます。

- ・自然生態園---田んぼ、畑、小川、雑木林があり、林の小鳥、草むらに昆虫、小川の魚等が観察できます。
 - ・西淡水池・東淡水池---雨水を貯めた淡水池、葦原と林に囲まれている、水辺の鳥と草原の鳥が観察できる。
 - ・芝の広場---広い原っぱで、お弁当や、お昼寝が楽しめる。
 - ・潮入りの池---淡水池の水と運河からの海水とが混じる汽水の池、潮が引くと干潟の生き物が沢山に見られ、渡り鳥が羽を休める所でもあります。
 - ・ネイチャーセンター---冷暖房完備で、備え付けの望遠鏡で、快適に野鳥が観察できます。
 - ・観察広場・小屋---池の畔に、東観察広場と 4 つの観察小屋があり、野鳥をじっくり観察できます。
 - ・自然学習センター---自然生態園で行う自然観察会や、工作教室などの行事を行う。以上が、東京港野鳥公園の概要です。
 - ・トピック: 東京港野鳥公園の設立に尽力された、芥川賞受賞作家”加藤幸子”の探鳥の追憶の風景と感想は、大井埋立地という殺伐な響きを持つ存在の荒地が、実は、愛する野鳥たちの生息地であったとは「鳥も、人も、いつまでも」東京港と繋がっている潮入りの池で、キアシシギやメダイチドリの上をジェット飛行機が飛ぶのを見てそう願いました。
 - ・今回の探鳥は、野鳥の最も少ない時期(渡り鳥の少ない夏場)ではありましたが、下記(幹事報告)の野鳥を観察できました。
 - ・当日は、朝から雨天空でしたが、探鳥中は、雨も降らず、十分に野鳥を観察し、探鳥することが出来ました。これも、偏に、我孫子野鳥を守る会の幹事の皆さん及び関係者の皆様のご協力のお蔭であると感謝しております。
- 本日は、楽しい 1 日を過ごさせて頂きありがとうございました。

【幹事報告】

<認めた鳥> キジバト、カワセミ、ツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、シジュウカラ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、カイツブリ、カワウ、ゴイサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、カルガモ、コガモ、メダイチドリ、イソシギ
計 21 種、番外カワラバト

<参加者> 畠中暁美、野口隆也、石渡成紀、佐々木隆、桑森亮、青木典子、染谷迪夫、松本葉子、栗田励、高橋長久、田中悟、池田日出夫、澤田冴子、加藤とよ子、松下勝子、古賀嗣朗、吉田隆行、柴本三弘、柴本法子、(担当幹事) 松本勝英、鈴木静治 参加者 21 名

鳥 だ よ り

- | | | | |
|--|-------------------------|--|----------|
| 07.24 [北新田] ㇿㇿ (4) 越流堤池から
飛立ち | 中野久夫 | 上で | 中野久夫 |
| 07.24 [北新田] ㇿㇿ (1) 河川敷で鳴
き声 | 中野久夫 | 08.13 [発作] ㇿㇿ (1) 上空を北西に
通過 | 鈴木静治 |
| 07.26 [高野山新田] ㇿ (1) 高野山上空
を高く円を書いて飛んでいた | 間野吉幸 | 08.13 [高野山新田地先の下沼] ㇿㇿ
(2) 埋め立て地の杭の上で休息してい
た | 間野吉幸 |
| 07.26 [高野山新田] ㇿㇿ (1) 遊歩道沿
いにオオタカがカラスに追われて西に向
かって飛んでいった | 間野吉幸 | 08.15 [千間橋] ㇿ (1) 電柱より飛び立
つ | 鈴木静治 |
| 07.28 [北新田] ㇿㇿ (3) 4号排水路岸
で | 中野久夫 | 08.15 [千間橋] ㇿㇿ (1) 高压塔上にと
まる | 鈴木静治 |
| 07.28 [つくし野] ㇿㇿ (1) つくし野川
で | 中野久夫 | 08.15 [北新田] ㇿ (1) 帆翔 | 中野久夫 |
| 07.31 [下沼田] ㇿㇿ (1) 電柱に止
まる | 鈴木静治 | 08.18 [東中新宿] ㇿㇿ (3) 10:30、自宅
上空で上昇気流に乗って飛んでいた。また、
うち 2 羽が飛翔しながら、餌の受渡しをし
ていた | 飯泉久美子 |
| 08.01 [中原ふれあい防災公園] シㇿㇿ
(1) 電線に止まり、羽づくろい | 飯泉仁・久美子 | 08.21 [本町] ㇿㇿ (1) イトーヨカ
ドー我孫子店とその前のビルの上で休息
した後、周りを飛び回っていた。間野吉幸 | 間野吉幸 |
| 08.01 [中原ふれあい防災公園] ツミ (1)
鳴きながら林上空を移動 | 飯泉仁 | 08.27 [千間橋] ㇿㇿ (1) 採餌 | 中西榮子 |
| 08.02 [曙橋] ㇿ (3) 14:59、水田上を
巡回、水田で休憩 | 飯泉仁・久美子 | 08.27 [千間橋] ㇿㇿ (1) 採餌 | 中西榮子 |
| 08.02 [布佐平和台] ㇿㇿ (1) テㇿ
ト上空を飛び高压塔に止まる | 鈴木静治 | 08.27 [千間橋] ㇿㇿ (2) 採餌 | 中西榮子 |
| 08.08 [発作] ㇿㇿ (1) 水面を飛び、岸
辺にとまる | 鈴木静治 | 08.27 [千間橋] ㇿㇿ (1) 採餌 | 中西榮子 |
| 08.09 [大井新田先手賀沼] ㇿ (1) 13:15、我
孫子市高野山方向から出現し、大井方面に
巡回 | 飯泉仁・久美子 | 08.27 [千間橋] ㇿㇿ (2) 休息 | 中西榮子 |
| 08.09 [高野山新田] ㇿㇿ (3) 人工干潟
で採餌 | 猪爪敏夫・川田光男・谷山晴男・
鈴木静治 | 08.28 [千間橋] ㇿㇿ (1) 採餌 | 中西榮子 |
| 08.12 [北新田] ㇿㇿ (1) 2号排水路の橋 | | 08.29 [千間橋] ㇿㇿ (3) 水の入った休
耕田で採餌 | 桑森亮・吉田隆行 |
| | | 09.03 [北新田] ㇿㇿ (1) 2号排水路上を | |

飛翔 中野久夫
09.03 [北新田] ㊦㊧㊨㊩(1) 電線上 中野久夫
09.04 [江蔵地] ㊪(11) 木の梢にとまり鳴く 鈴木静治
09.06 [中沼田] ㊫㊬㊭㊮(1) 稲田上空を飛ぶ 鈴木静治
09.10 [千間橋] ㊯㊰㊱(1) 川中より岸の葦に飛び込む 鈴木静治
09.11 [布施あけぼの山公園] ㊲㊳(1) 大久保陸夫
09.11 [布施あけぼの山公園] ㊴㊵(1) 大久保陸夫
09.11 [弁天下] ㊶㊷(1) 帆翔 中野久夫
09.11 [岡発戸新田] ㊸㊹㊺(2) 休息 松田幸保
09.13 [高野山新田] ㊻㊼㊽(1) ㊾㊿㊿ 上空を飛ぶ 猪爪敏夫・谷山晴男・鈴木静治
09.13 [高野山新田] ㊿(1) 沼上空を飛ぶ 鈴木静治
09.13 [高野山新田] ㊿㊿㊿(4) 干潟で採餌 鈴木静治
09.14 [北新田] ㊿㊿㊿(5) 2号排水路で 中野久夫
09.16 [北新田] ㊿㊿㊿(1) 2号排水路で 中野久夫
09.18 [布施あけぼの山公園] ㊿㊿㊿(1) 移動中、木にとまった 中西榮子
09.18 [布施あけぼの山公園] ㊿㊿㊿㊿(1) 休息 中西榮子
09.18 [布施あけぼの山公園] ㊿㊿㊿㊿㊿(1) 採餌 中西榮子
09.18 [北新田] ㊿㊿㊿㊿(5) 越流堤横草地 2羽、3号排水路横休耕地 3羽 中野久夫
09.20 [北新田2号水路] ㊿㊿㊿(1) 12:21、上空を旋回 飯泉仁・久美子
09.20 [酒井根 6丁目下田の森] ㊿㊿(1) 8:45、雄個体が枝に止まった 飯泉仁
09.20 [布施あけぼの山公園] ㊿㊿㊿㊿㊿(1) 13:51、枝を移動しながら虫を捕食 飯泉仁・久美子

イソシギ、ウグイス、エゾビタキ、エナガ、エリマキシギ、オオジシギ、オオタカ、オオバン、オオヨシキリ、オジロトウネン、オナガ、カイツブリ、カルガモ、カワウ、カワセミ、カワラヒワ、カンムリカイツブリ、キジ、キジバト、キビタキ、クサシギ、コアジサシ、ゴイサギ、コガモ、コゲラ、コサギ、コサメビタキ、コチドリ、コブハクチョウ、サシバ、シジュウカラ、シマアジ、シラコバト、スズメ、セイタカシギ、セッカ、センダイムシクイ、ダイサギ、タカブシギ、タシギ、タマシギ、チュウサギ、チョウゲンボウ、ツツドリ、ツバメ、ツミ、トウネン、トビ、ノビタキ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ハヤブサ、バン、ヒバリ、ヒバリシギ、ヒヨドリ、ホオジロ、ホトトギス、ミサゴ、ムクドリ、ムナグロ、メジロ、モズ、ユリカモメ、ヨシゴイ 計 71 種
番外種 アヒル、シナガチョウ、バリケン

今回の投稿者の総投稿件数

飯泉久美子	3
飯泉仁	143
飯泉仁・久美子	101
猪爪敏夫・谷山晴男・川田光男・鈴木静治	3
猪爪敏夫・谷山晴男・鈴木静治	3
大久保陸夫・鈴木静治	3
大久保陸夫	2
桑森亮	5
首藤佑吉	5
鈴木静治	39
染谷迪夫・木村稔・田中功	15
染谷迪夫・田中功・木村稔・佐々木隆	17
中西榮子	15
中野久夫	58
西巻実	1
松田幸保	2
間野吉幸	29
総計	444

今回寄せられた鳥の全種名

アオサギ、アジサシ、アマサギ、アリスイ、

手賀沼周辺で観察されたタカ目（鳥だよりの記録より）

間野 吉幸

1. はじめに

我孫子野鳥を守る会は、1973年10月より会員が観察した野鳥を「鳥だより」としてデータベース化している。このデータベースを基に食物連鎖の頂点にいるタカ目に注目し、私達が住む手賀沼周辺（我孫子市、柏市、印西市の一部）でデータベースに登録されたタカ目の出現状況を考察する。

2. 観察データ件数と観察種類数

「鳥便り」のデータ件数は、2008年12月時点で51,890件。今回は1998年から2007年までのデータ2,982件の内不明種を除いた2,938件を基に考察した。

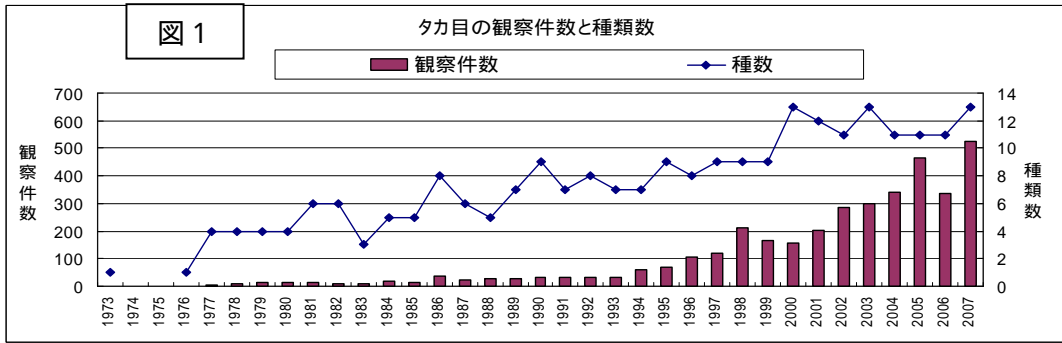
表 1

1998年～2007年のタカ目種別年別観察件数

	オオタカ	オオワシ	ケアシノスリ	サシバ	チュウヒ	ツミ	トビ	ノスリ	ハイイロチュウヒ	ハイタカ	ミサゴ	タカ計	コチョウゲンボウ	チゴハヤブサ	チョウゲンボウ	ハヤブサ	ハヤブサ科計	合計	不明種計	総合計
1998年	31			37	11		6	21	16		2	124			58	22	80	204	6	210
1999年	27			29	13		1	19	4		1	94			63	8	71	165	1	166
2000年	18	2		33	25	1	3	12	2		2	98	1	1	49	1	52	150	7	157
2001年	24			38	15	2	6	22	17		2	126	1	3	56	11	71	197	6	203
2002年	38			53	24	23	9	29	19	2	11	208			55	22	77	285	0	285
98-02計	138	2	0	190	88	26	25	103	58	2	18	650	2	4	281	64	351	1,001	20	1,021
2003年	40			50	22	40	9	23	13	2	26	225	3		47	24	74	299	1	300
2004年	41			56	13	24	22	55	3	1	17	232			79	19	98	330	9	339
2005年	93		1	68	14	34	46	52	4		50	362			75	21	96	458	6	464
2006年	70			56	14	26	34	32	7		23	262	1		60	10	71	333	1	334
2007年	62			68	18	33	53	76	3	2	71	386	5	1	99	26	131	517	7	524
03-07計	306	0	1	298	81	157	164	238	30	5	187	1,467	9	1	360	100	470	1,937	24	1,961
98-07計	444	2	1	488	169	183	189	341	88	7	205	2,117	11	5	641	164	821	2,938	44	2,982

出典：我孫子野鳥を守る会「鳥便り」データベースより

1998年から2007年の10年間でタカ目は、15種観察された。内タカ科が11種、ハヤブサ科が4種である。観察頻度が高い種は9種、やや高い種を含めると10種観察された。観察頻度の高い種は、タカ科ではオオタカ、サシバ、チュウヒ、ツミ、トビ、ノスリ、ハイイロチュウヒ、ミサゴ。ハヤブサ科ではチョウゲンボウ、ハヤブサだった。（表1）



出典：我孫子野鳥を守る会「鳥便り」データベースより

タカ目の観察件数と観察種類数の関係は比較的相関が高い。観察件数が増えた1998年以降は9種から13種の間で推移している。(図1)

3. 月別に見た観察年総種類数の傾向。

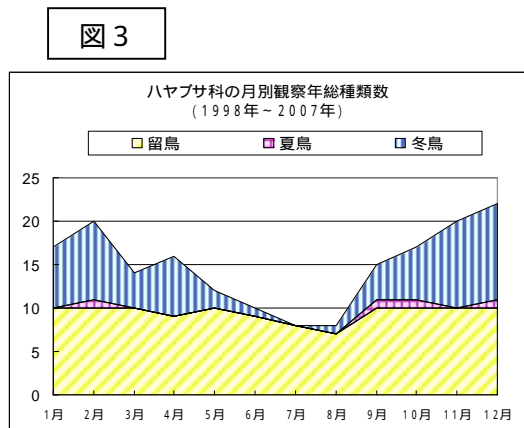
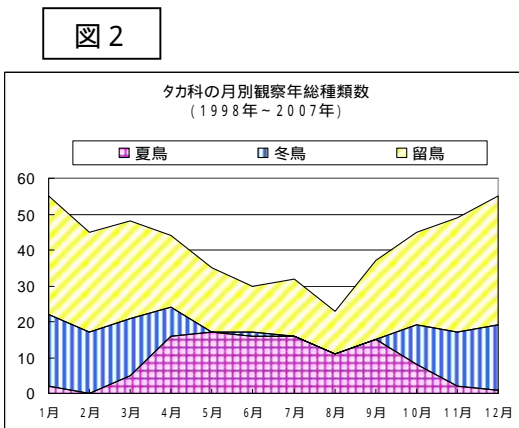
3.1 タカ科の月別観察年総種類数

タカ科は全部で11種観察された。その内留鳥が4種(オオタカ、トビ、ノスリ、ミサゴ*)、夏鳥が2種(サシバ、ツミ)、冬鳥が5種(ハイタカ、オオワシ、ハイイロチュウヒ、ケアシノスリ)であった。夏鳥は、種類数は少ないがしっかり現れている。冬鳥は5種と種類が多かった。オオワシなど観察頻度が少ないタカを見ることが出来た。留鳥といっても手賀沼周辺では、夏少なく冬多い傾向にある。(図2)

(注：*手賀沼では近年夏季の観察が増えたことにより冬鳥から留鳥に変更)

3.2 ハヤブサ科の月別観察年総種類数

チョウゲンボウは一年を通して観察され、ハヤブサは冬に多く観察されるため、ハヤブサ科も冬季の観察が多くなっている。(図3)



出典：我孫子野鳥を守る会「鳥便り」データベースより

4. 種別状況

4.1 オオタカ(タカ科)

オオタカは、千葉県レッドデータブックで、重要保護生物になっている。10年間で444件の観察を記録した。3番目に多い記録件数。このタカは平地から山地の林、河川、農耕地、湖沼などを行動範囲とし、各地で観察されている。採食は鳥類が主でネズミやウサギなども獲っている。オオタカは、冬季の観察年数が多いが、夏季においてもかなりの頻度で観察される。

観察年数は10/10年であるが、観察件数が増えている。

4.2 オオワシ(タカ科)

オオワシは、千葉県レッドデータブックで、要保護生物になっている。10年間の観察件数は2件のみ。2001年1月3日(柏市新利根上空)同1月31日(我孫子市岡発戸新田上空)で観察された。それ以前の観察は1981年1月まで遡る。

オオワシは魚類を採食し、繁殖期にはウサギ、鳥なども獲る。

観察年数は1/10年。

4.3 ケアシノスリ(タカ科)

ケアシノスリは10年間の観察件数は1件のみ。2005年1月31日北新田で物色飛翔を観察した記録がある。採食は主にネズミ類、鳥類なども獲る。

観察年数は1/10年。

4.4 サシバ(タカ科)

サシバは、千葉県レッドデータブックで、重要保護生物に指定されている。10年間で488件の観察を記録した。2番目に多い記録件数。このタカは春に南より渡って来て近くに湿地、谷津田、水田などの採食場のある山地の樹上に営巣する。各地で観察されている。爬虫類、両生類を好み昆虫類、鳥の巣立ち雛、ネズミも採食する。4月から10月に掛けて観察され、繁殖も認められる。

観察年数は10/10年。

4.5 チュウヒ(タカ科)

チュウヒは千葉県レッドデータブックの重要保護生物に指定されている。10年間で169件の観察を記録した。このタカはサシバと入れ替わるように来、手賀沼周辺では、秋の中頃から春の中頃まで沼や河川周辺で見られる。ネズミ類を主に採食し、他に鳥類、昆虫類、両生類、爬虫類なども獲る。冬季は毎月観察されている。観察年数は10/10年。

4.6 ツミ(タカ科)

ツミは千葉県レッドデータブックの重要保護生物に指定されている。10年で183件の観察を記録した。2000年は1件であったが2002年以降は、年間23件~40件に増加した。主に春の初めから秋の中頃まで林や郊外の住宅地で観察された。繁殖が認められる。ツミは小鳥類を主に採食し、昆虫などもとる。

観察年数は8/10年。

4.7 トビ(タカ科)

トビは千葉県レッドデータブックの要保護生物に指定されている。10年で157件の観察を記録した。1998年から2003年までは観察件数が少なかった(1~9件/年)が2004年以降大幅に増加した。沼や川原とその周辺で通年観察されているが、秋の初めから冬にかけて多い。トビは屍肉やカエル、昆虫類、ミミズ、人間が捨てた残飯などを食べる。

観察年数は 10/10 年。

4.8 ノスリ(タカ科)

ノスリは千葉県レッドデータブックの要保護生物に指定されている。10年で341件の観察を記録した。4番目に多い記録件数。2004年以降夏季の観察記録が見られ件数も増加している。観察地は農耕地、川原などの各地で見られ、ネズミなどを主に採食している。他に両生類、爬虫類、鳥類、昆虫類などを獲る。

観察年数は 10/10 年。(次号に続く)

会員便り (ab-yacho より)

【北新田】

北新田の稲、だいぶ黄色くいろづいてきました。あと1週間ぐらいで稲刈りが始まると思います。

- ・ムナグロは1羽で鳴きながら飛んでいました。
- ・オオヨシキリの鳴き声は地鳴きだけで、さえずりは聞かれませんでした。

(中野久夫 08/15)

北新田の稲刈りはほとんど終わり、あと数枚残すだけになりました。

- ・ゴガモは9月14日からきています。青山水門近くの2号排水路にいました。
- ・シマアジは朝7時ごろ越流堤近くの2号排水路にいましたが、10時ごろ行った時はいませんでした。
- ・トビとミサゴは上空で帆翔していました。
- ・オオタカは稲刈り田にいたキジを襲いましたが、横からチョウゲンボウが鳴きながらからんできたため捕獲は失敗しました。
- ・ウグイスの囀りは9月5日、セッカの囀りは9月7日まで聞かれましたが、以降聞かれなくなり地鳴きだけになりました。(中野久夫 09/16)

【手賀沼】

千間橋(地名)辺りの田圃にもシギ・チが入り始めたようです。今年は水の入った田圃は少なく今のところ千間橋辺だけのようです。私も最近はずいぶん時々のぞいています。まだ数種類も少ないのですが来月の定例の頃位までは楽しめるのではと期待しています。昨日も珍しいシギが入っているという情報をもらって夕方行ってみました。そのときに近くの電柱にオオタカが止まっていた。しばらく止まっていたがそのうちに飛び去りました。

(諏訪哲夫 08/20)

27日と28日、手賀沼(富士見橋(赤い橋)の南西のたんぼの水だまり)に行ってみました。エリマキシギ、オジロトウネンが、あまりに近くで観察出来て富士見橋(赤い橋)の南西のたんぼの水だまりです。驚きました。(中西榮子 08/28)

中西さんの鳥便りを見て、昨日、水道橋と千間橋の間のたんぼに行き、エリマキシギとオジロトウネンに出会えました。現地でも吉田さんと一緒になりました。周辺のたんぼはほとんど干上がっており、僅かに水がある程度の1枚のたんぼでこの2羽だけが餌を採っていました。他に餌を採れるところがないのか、5,6人でカメラを構えているのですが、直ぐ間近までやって来ます。餌場が限られていて、人を気にしていられず鳥も必死だったのでしょう。

(桑森亮 08/30)

【あけぼの山公園】

今朝、あけぼの山公園でアリスイを見ました。利根川の方から飛んで来て、一瞬、桜の木にとまり、パーベキュー広場の方角に姿を消しました。他には、コサメビタキ、センダイムシクイ、ツツドリを見ました。(中西榮子 09/18)

【ゆうゆう公園】

今日、午前中にゆうゆう公園に行ってきました。北新田にノビタキが出ているということなので環境が似ているゆうゆう公園にも出ていると思い、探しに行きました。堤防に近いところで盛んに採餌していました。(諏訪哲夫 09/23)

9月幹事会報告

日時 9月13日(日) 13:30~16:30

場所 アビスタ 2F第5学習室

議事

1. JBFの行事と担当の確認

2. 会報211号の掲載記事について

掲載記事は原案通り了承され、担当者も決定。

3. その他

あびこ子どもまつりへの参加要請があったが協議の結果、協力可能な幹事が1名だけで参加辞退を決定。

会計書類の保存期間について、5年と決定し、それ以前のもの廃棄処分の提案が協議の結果、了承された。

美手連関連行事報告

- ・10月17日手賀沼流域フォーラムでpmにシンポジウムが開催され間野が参加
- ・ビオトープ調査の中間報告を環境財団に提出
- ・手賀沼流域河川協働調査報告(我孫子市)を市経由で県に提出
- ・我孫子景観形成市民会議へ鳥の情報と写真の資料を提供

新会員紹介

和田智幸、和田由香、和田幸人(東京都江東区)

ほーほーどり No.211 (2009年11~12月号)

発行 2009年11月1日

発行人 間野吉幸

編集人 猪爪敏夫、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務局 染谷迪夫 〒270 1154 我孫子市白山 1-9-4 Tel:04 7182 3972

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費2,000円(大学生・高校生1,000円、中学生以下500円、家族会員無料)